

# 森のひろば

フォレスト・ニュース

NO.1196

令和7年11月号

林野庁 近畿中国森林管理局



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



## ケヤキ (鶴見緑地公園・大阪市内)

トピックス：国有林から伐り出された木材はどこへ！（資源活用課）

ニュース：山口森林管理事務所、三重森林管理署、岡山森林管理署

花草木：センニチコウ

我が署のスタッフ：鳥取森林管理署

森林事務所等紹介：西牟婁森林事務所（和歌山森林管理署）

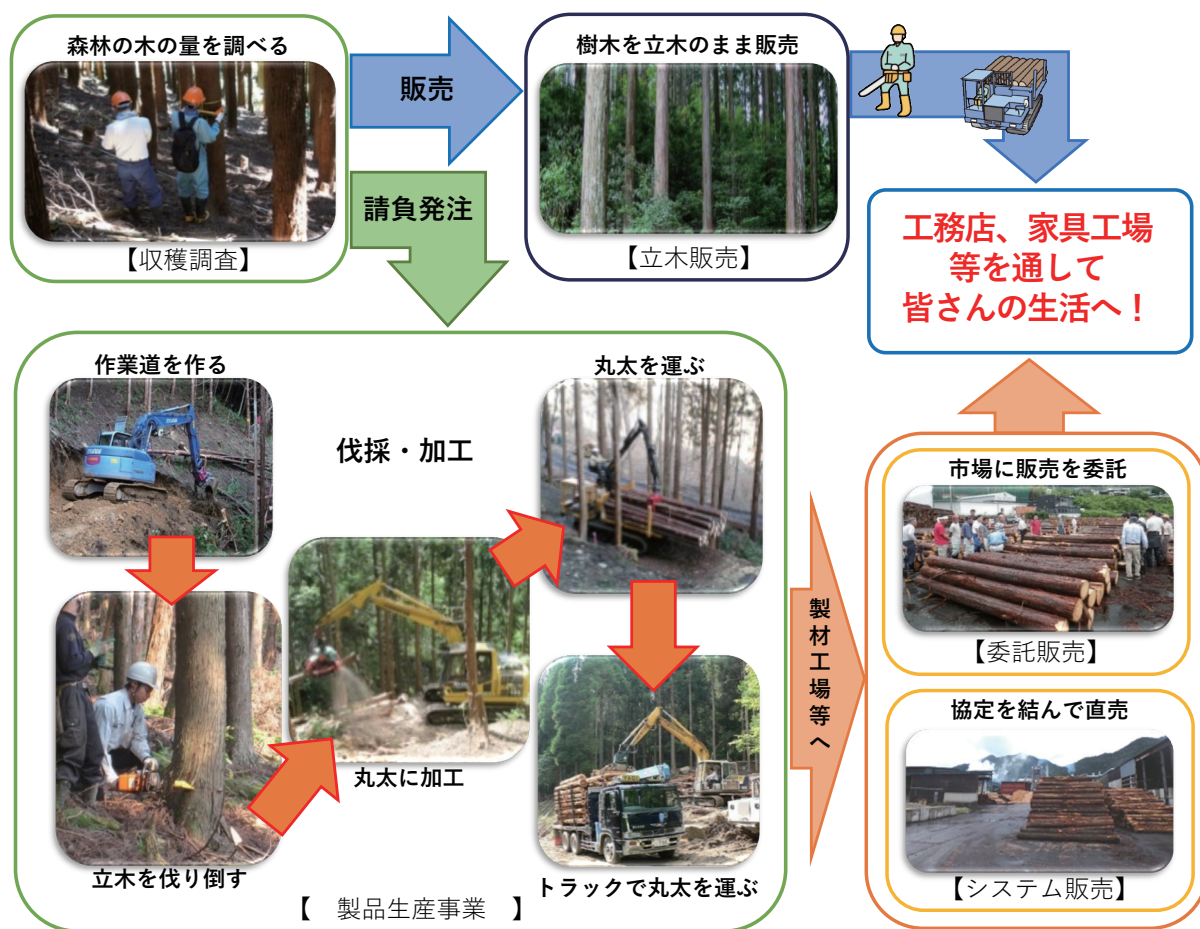
国有林最前線：総務課

## 国有林から伐り出された木材はどこへ！

### 【資源活用課】

近畿中国森林管理管内の森林面積に占める国有林の割合は、6%と小面積で分散しているものの、終戦直後から高度成長期にわたり伐採した跡地に植林されたスギ・ヒノキ人工林の割合は45%と高く、そのうち11齢級（51年）以上の森林が60%以上を占めるまで木材資源が成熟してきており、利用期を迎えています。

この成熟した資源を有効活用するために、公益的機能の維持・増進に配慮しつつ、森林整備事業等を通じて、木材の持続的かつ計画的・安定的な供給に努めています。



国有林野からの木材の供給方法には、立木販売と素材販売とがあり、その供給方法と、木材の主な利用方法についてご紹介します。

Q 立木販売とは？

樹木を立木（山に生えている状態）のまま販売する方法で、入札によって購入した者が伐採・搬出し、丸太に加工して利用します。

Q 素材販売とは？

間伐等の森林整備事業を請け負った事業者が、伐採・搬出し、丸太に加工して販売するもので、次の2つがあります。

- ① 原木市場に委託して、せり売りにより販売する「<sup>いたくはんばい</sup>委託販売」
- ② 事前に製材工場等と安定供給の協定を締結し、山の伐採現場で丸太を販売する「システム販売」

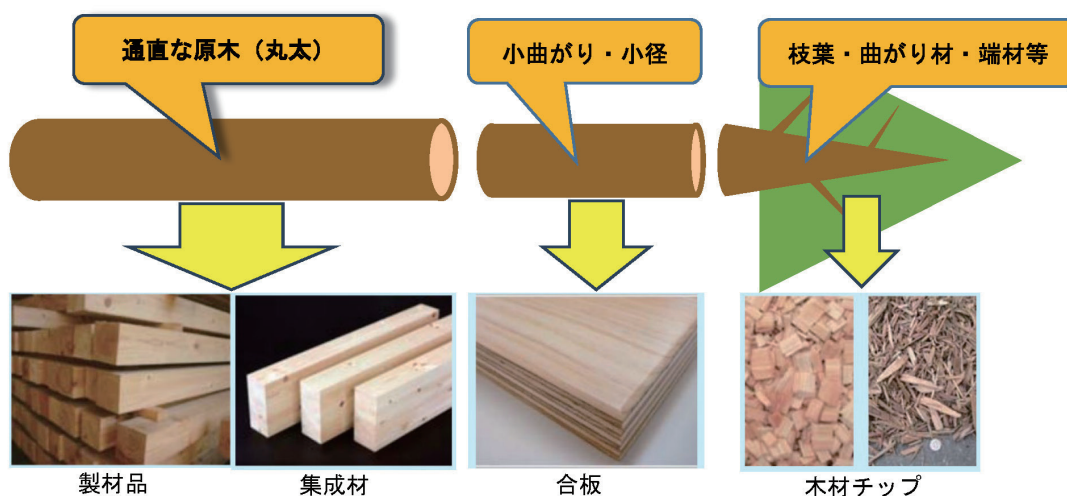


委託販売（せり売りの様子）

システム販売  
(山の土場に集積している様子)

### Q 主な利用方法は？

丸太として購入された後は、無垢材として住宅等の建築物の骨組みとして用いられる柱、梁、桁、土台等に加工されるほか、壁、床、屋根の下地材として用いられる構造用合板や、節や割れなどの欠点となる部分を取り除き、接着剤で結合した集成材として柱や板に加工されます。また、丸太に加工する際に生じた枝葉・曲がり材・端材等についても、木材チップに加工して、主に紙の原料やバイオマス発電等の燃料として使われています。



端材等の集積の様子



木材チップに加工している様子

このように生産された丸太は、材質や用途等に応じて加工され、皆様の生活の中で利用されています。

国有林野事業では、公益重視の管理経営を推進しつつ、地域における木材安定供給体制の構築等を図るため、木材の持続的かつ計画的な供給に努め、地域の林業・木材産業の活性化に貢献できるよう努めてまいります。

## 森林ボランティア（山口県 OF 会）と 合同で森林整備活動を行いました。

### 【山口森林管理事務所】

山口森林管理事務所では、令和 7 年 10 月 16 日（木）、なめらやま滑山国有林（山口市徳地）において、山口県オールド  
フォレスターの会（OF 会※<sup>1</sup>）によるボランティアの協  
力を得て合同で森林整備活動を行いました。

当日は、天候が心配されましたが、OF 会員 6 名、山  
口所 6 名の計 12 名が参加し実施することが出来ました。

作業内容は三本  
杉※<sup>2</sup>の周囲に設  
置している木造ス  
ロープの修繕・補  
修作業及び滑マツ  
までの林道の刈払



スロープ修繕の様子

いを行いました。作業は OF 会員の積極的な活動のもと、  
時にはアドバイスを受け、現職員にとっても国有林に携  
われた先輩である OF 会員の方と交流する貴重な活動と  
なりました。作業後は林道も通行しやすくなり、朽ちて  
いたスロープ周りも新しく見栄えの良いものに仕上げる  
ことが出来ました。



集合写真

今後も山口森林管理事務所では、OF 会と協力して森  
林整備活動を続けてまいります。

※ 1：森林管理署等の退職者で構成された団体で、国有林を  
フィールドとしたボランティア活動を通じて国民参加の森  
づくり活動に貢献しています。

※ 2：大原湖上流にある滑峽、飯ヶ岳登山道にある三本の天然  
の杉で、林野庁「森の巨人たち 100 選」に指定されている  
巨木。

## 現地検討会「大型排水管を活用した捕 獲個体の残渣処理等」を開催しました。

### 【三重森林管理署】

三重森林管理署では、令和 7 年 10 月 16 日（木）、  
おおすぎだに大杉谷国有林（三重県大台町）において、現地検討会「大  
型排水管を活用した捕獲個体の残渣処理等」を開催しま  
した。

当日は、県・市町職員等の林務・鳥獣害対策担当者な  
どの参加者は計 25 名、遠くは愛知県新城市、設楽町、  
東栄町からの参加もあり、農林業における鳥獣害対策へ  
の関心の高さがうかがえました。

当日の天候は、朝から雨天となったため、海山リサイク  
ルセンター（三重県紀北町）の会議室をお借りして、概要  
説明を行った後、現地の大杉谷国有林へ移動しました。



大型排水管を活用した残渣処理について説明



臭いを確認

現地では、大型排水管を活用した捕獲個体の残渣処理、  
小林式誘引捕獲法の仕組みや設置方法についての紹介と  
意見交換を行いました。

三重森林管理署では、今後とも国有林野の技術を広め  
るため現地検討会を開催してまいります。

## 第24回森林を考える岡山県民のつどい」に参加しました。

### 【岡山森林管理署】

岡山森林管理署では森林技術・支援センターとともに、令和7年10月18日（土）、グリーンヒルズ津山（岡山県津山市）において開催された「第24回森林を考える岡山県民のつどい」（同実行委員会主催）に参加しました。

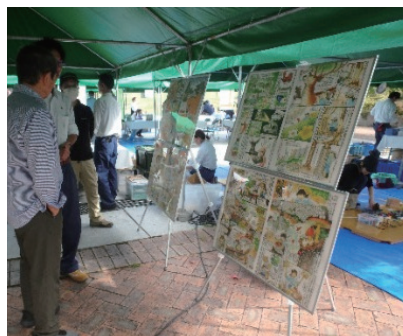
このイベントは、「環境の世紀にふさわしい森林の保全や美しい森づくりを推進するとともに、林業の振興と地域材の需要拡大を図る」ことを目的として、平成12年から開催されているものです。

当署は、例年の参加で好評を得ているどんぐりや松ぼっくり等の材料を使った木工クラフト体験及び森林・林業や治山事業について紹介したパネル展示を行いました。



木工クラフト体験

木工クラフトでは、輪切りにした木片や枝を手に取り、時には自分で拾ってきたどんぐりを使い創意工夫して自分だけの作品作りを楽しんでいました。



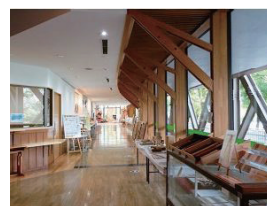
パネル展示

「これは何の木・何の実なんだろう」「これ見て、面白い形」「もっと作りたい」など参加者同士で声を掛け合い楽しむ姿が印象的でした。

参加者が、この体験をきっかけに森林、林業について興味を持ち、林業の振興や地域材の需要拡大の一助になってくれればと感じる一日でした。

岡山森林管理署では、引き続き地域と連携した取り組みに積極的に協力・参加してまいります。

## 森林のギャラリー（局庁舎1階）



### 【技術普及課】

○現在の展示は、令和7年11月4日（火）～11月28日（金）、三重県、NPO 自然と緑、大阪府貝塚市が行っています。

○ギャラリーの展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



### 【技術普及課】

○令和7年度森林・林業交流研究発表会を開催します。

【開催日】令和8年2月3日（火）～4日（水）

【開催場所】近畿中国森林管理局4階大会議室  
詳しくは下記のホームページをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/gijyutukaihatu/20170324.html>



### 【三重森林管理署】

○大杉谷からの手紙（63通目）を発行しました。

これまでのバックナンバーをも観ることが出来ます。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

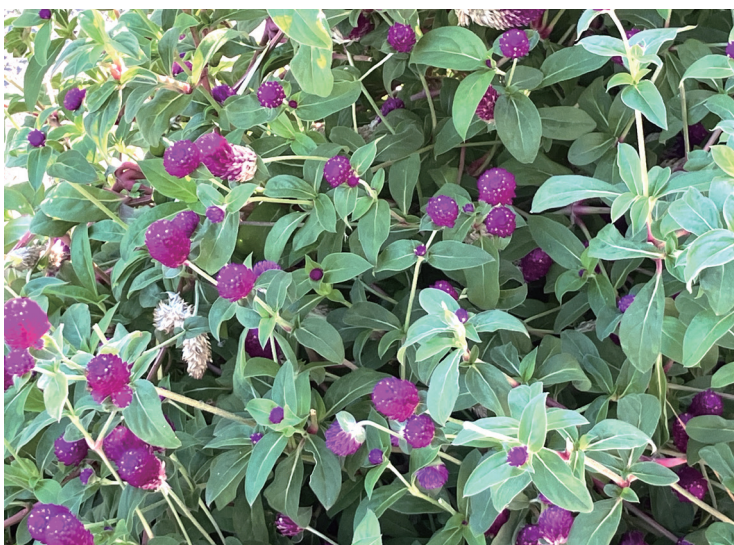
<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/oosugitegami.htm>



## 花草木

### 【センニチコウ】

センニチコウ（千日紅、学名 *Gomphrena globosa*）は、ヒユ科の春播き一年草です。園芸植物として栽培されていて花の季節は秋で9月前後が見頃です。美しい淡いピンク色や黄緑などさまざまな色をしているため、観光地などにも人気があり、多くの場所で散歩道として飾られている姿が印象的です。その名前からもわかるとおり「千日公」または「千日咲き」と呼ばれています。別名で千日草（せんにちそう）とも呼ばれます。



大阪市内の公園で咲いていたセンニチコウの花

花言葉は「変わらぬ愛」「永遠の恋」「永遠の命」「不死」「不朽」です。

## 我が署のスタッフ 鳥取森林管理署

富田 光祐（とみた こうすけ）（令和6年度採用）

### 【現在取り組んでいる仕事は？】

治山グループの係員として主にCADを使った図面の作成や公文書の管理をしています。今年で入庁2年目になりますが、来年から工事の監督を任せると予告されています。学ぶことがたくさんある立場で監督業務を任せられるとあって不安は大きいですが、日本の森林保全に貢献するため勉強しながら頑張りたいと思います。

### 【職場の雰囲気は？】

職場全体で仲が良く明るい雰囲気です。何か判断に困ったときや疑問に感じたとき、上司や先輩へ気兼ねなく質問できます。知識不足な自分にもわかりやすく説明していただけてとても勉強になります。

### 【林野庁の魅力は？】

様々な国有林で業務をおこなえるのが一番の魅力だと思います。季節はもちろん、国有林ごとに見える景色が違いますので毎回目新しさがあります。山と深くかかわる仕事なので危険な現場作業もありますが、自然と触れ合うことが好きな人にはピッタリな仕事だと思います。



OJTによる境界確認作業の様子

## 森林事務所等紹介

### 西牟婁森林事務所（和歌山森林管理署） 森林官 河合 敏宏（かわい としひろ）

にしもろ  
西牟婁森林事務所は田辺市に所在し、管轄区域は田辺市及びすさみ町です。森林計画区は南紀森林計画区になります。  
さかたいやま（936ha）、みやしろやま（99ha）、ふるだに（102ha）、まえのかわ（1,312ha）、みやしろがわ（1,033ha）及びぜんじ（70ha）の6団地の国有林約 3,552ha と公有林野等官行造林契約地 1 団地約 23ha を管理しています。

西牟婁森林事務所では、平成 28 年度から宮城川国有林を中心とし、「伐採と造林の一貫作業システム」が進められており、植栽後 1 年目・2 年目は下層植生の成長が抑えられる（伐採後すぐに植栽）利点を生かし、「下刈りの省力化・削減」の取り組みとして、画一的な下刈りを実施するのではなく、植栽木と雑草木の競合状況（C 区分判定）を見極めながら下刈りの回数を減らすことや（5 回下刈り→1 回下刈り）、無下刈りの実施（5 回下刈り→下刈り 0 回）、下刈り時期の弾力化（炎天下での作業の分散）として、通常実施している夏下刈り（6 月下旬から 8 月末の下刈り）を、ハチや蛇などの危険生物の活動期を終了した夏以外（秋から冬にかけて）の下刈りを進めています。

現在では、発注のすべてにおいて夏以外での下刈りを実施、下刈り回数については、現地の状況によりますが基本 1 回の下刈りで完了させています。

先駆的な取り組みを始めて 10 年を迎えようとしています。植栽木は、おおむね良好に成長しているところです。

また、この地域はシカの生息密度が高いことから植栽前には、シカの食害防止のため防護ネットを設置し植栽を行っています。そうした中で、植栽木の成長に合わせ、試験的に「シカ防護ネットの撤去」を令和 4 年秋（スギ 7 年生、無下刈り箇所）に実施して、和歌山県立林業大学校の実習フィールドとして提供しています。ネットの撤去に伴う植栽木に目立った食害はなく、良好に成長しています。

今後も、低コスト造林、ICT 等を活用したスマート林業、獣害対策など国有林の先導的な取り組みに関する現地検討会の開催や地域のニーズ等を踏まえた情報発信、国有林のフィールド提供等により産・学・官が協働することによって、実現に向けた支援に取り組んでいきたいと思っています。



宮城川国有林 無下刈り（写真中央）  
ドローンにより令和 7 年 10 月 28 日撮影



宮城川国有林 61 号 2 林小班  
令和 6 年度、1 月に冬下刈り 1 回目を実施

# シリーズ『国有林 最前線！』

## 近畿中国森林管理局で働いてみませんか！

### 総務課

近畿中国森林管理局総務課人事係では、職員の採用・任用・退職など、職員の人事に関する業務、職員表彰や懲戒処分、勤務時間の管理等を担当しています。

人事係が担当する業務の中で採用について少しご紹介をさせていただきます。

林野庁全体では、毎年 100 名以上の新規採用者が入庁し、林野庁本庁や全国の森林管理局に配属されます。

そのうち近畿中国森林管理局に配属された新規採用職員は、管内の森林管理署等に勤務し、国有林の管理や整備、治山等の業務に携わります。

さて、新規採用者の確保について少しお話ししますと、社会全体として人材の確保が難しいとの状況を良く耳にします。その為、各企業では、様々な手法を使って人材確保に力を入れられていると聞いています。

そのようなことが影響しているのかは定かではありませんが、公務員離れも少なからずあり、優秀な人材の確保が大きな悩みとなっています。このような状況を踏まえ、人事院が主催する業務説明会へ積極的に参加し、管内の大学等で国有林のPRを行っています。最近はワークライフバランスを重視する学生の方々も増加傾向であるため、働きやすさや職場環境の充実について説明を行うほか、林野庁特有の森林の管理経営への興味の醸成にも努めていきたいと考えています。



人事院が主催する業務説明会

また、近年は社会人経験を有する方を対象とした選考採用にも力を入れています。転職サイトを活用し、職員のインタビュー記事を掲載するなどの広報活動を行っており、例年、多くの応募をいただいています。新規採用者には文系の学部を卒業された方や、

全く違う業界から転職された方も多くいますが、研修制度が充実しているほか、先輩や上司の指導の下で仕事を覚えることができるため、専門的な分野でもしっかりと活躍され、職場の活性化にもつながっています。

さらに、近畿中国森林管理局 HP には採用情報ページを常時開設し、様々な採用情報を発信しているほか、職場の仕事内容が分かる動画などを公開していますので御興味のある方は是非御覧ください。

今後も、さらに「林野庁近畿中国森林管理局」の取組や採用志望者の拡大を図るため PR に努めていきたいと考えています。



林野庁の入庁案内パンフレットと業務説明資料